

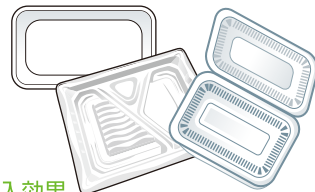
中央化学が取り組む

# ケミカル リサイクル システム

当社では新日鐵住金(株)のコークス炉化学原料化法を活用した、使用済みプラスチック食品容器の店頭回収・リサイクルに取り組んでいます。消費者、小売業者、包装資材店の皆様の協力の下、スーパーマーケットなどの店舗で使用済みプラスチック食品容器を回収し、安全・安心なプラスチック原料などに再資源化しています。

## 回収

すべてのプラスチック食品容器の回収・リサイクルが可能です

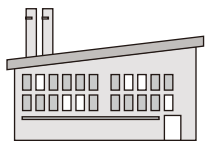


### ▶ 導入効果

- プラスチック素材の分別が不要
- 回収品目拡大により、リサイクル量が増加

## 熱分解処理

新日鐵住金(株)のコークス炉で熱分解処理し、炭化水素油などに再生

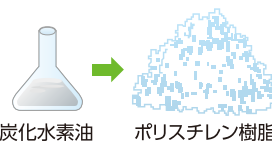


### ▶ 環境に配慮

- 新日鐵住金(株)コークス炉化学原料化法ではプラスチックをほぼ100%リサイクル可能
- 炭化水素油のほか、コークス、コークス炉ガスに再生し資源として有効活用

## 重合

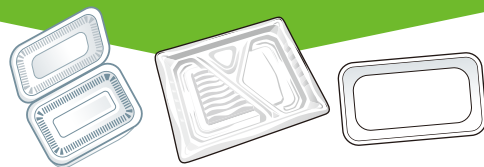
安全・安心なプラスチック原料に戻ります



### ▶ リサイクル

- 再生された炭化水素油をプラスチック原料として利用
- 安全な循環型食品容器を消費者へ提供、「リサイクルの見える化」を推進

循環型プラスチック食品容器などへ



Product safety always comes first at Chuo Kagaku

# 株主通信

## 第55期 決算報告

2014年4月1日 ▶ 2015年3月31日



●トップメッセージ  
株主の皆様へ

●中国事業  
競争激化する中国市場で「業界トップ企業のブランド力・総合力を活かし、継続的拡大を目指す」

●新製品  
いろは

## トップメッセージ



### 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より当社グループへのご理解とともに格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

ここに当社グループの第55期の株主通信をお届けいたします。

当食品包装容器業界における市場環境は依然として厳しく、消費者の節約志向・低価格志向が継続しております。一方、プラスチックの原料価格は、2014年第3四半期をピークとして、その後軟調に推移しておりますが、円安の継続や原油の先高感などから、原料価格は反転・上昇の気配を強めております。このような厳しい経営環境下において、得意先様との連携強化に注力するとともに、提案型営業の推進に努めて参りました。中国においては、拡販や製造効率の改善により、前年同期の実績を上回り、増収増益基調を続けております。

この結果、当連結会計年度の業績は前年より大きく改善しましたが、黒字化には至りませんでした。

### 2015年3月期を振り返って

#### 事業運営の効率化とコスト削減 聖域なき改革に取り組む

2013年の社長就任以来、原料価格や電気料金・運賃など全ての変動費が上昇するという厳しい状況が続きましたが、2015年3月期は、その厳しい環境の下で続けてきた構造改革がようやく実を結び始めた年となりました。高騰を続ける原料価格・電気料金・運賃などの影響を自助努力で吸収すべく、聖域を設けずに製造原価を始め物流費や管理費などあらゆる経費の見直しを行い、コスト削減と効率化を実現しました。

しかしながら、高騰を続けた原材料価格などの上昇による影響の全てを吸収することは困難であったことから、価格改定や採算是正に取り組み、多くの得意先様からご理解を得ることができました。



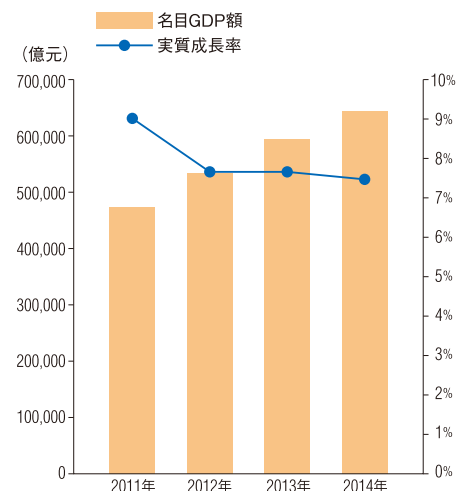
#### ターンアラウンド過程にある中央化学 改革効果がじわり

コスト削減と効率化に加え、社内構造改革も推し進めてきました。当社はこれまで、縦割り型の組織体制の色合いが濃かったために、その弊害によって、変化していくマーケットに対して、スピード感と柔軟性に欠けており、お客様のニーズに充分お応えできず、そのことが、会社成長・収益改善の阻害要因になっていました。従って、まずは当社の社是である「全員創意」を徹底し、縦割り型体制に横串を通す社内の意識改革を推し進めて参りました。「全員創意」は社員一人一人がその専門的知識に加え、包括的な視野と意思疎通を持って俊敏に動くための社内改革の礎です。チャレンジ精神を持ち、自由闊達な議論を重ねた上で全社が一丸となってマーケットのニーズに応えていくことこそが、中央化学改革の基本。

この基本を徹底することに加え、生産設備を含めた生産・物流の構造改革、製品開発・マーケティング・販売全体の構造改革と、さまざまな改革を同時並行的に推し進めて参りました。構造改革は一朝一夕にできるものではありませんので、中央化学は今まさにターンアラウンド過程にあり、2016年3月期は更に改革を加速させ、それに伴って成果も大きくなっていくと考えております。

また、中国においても再構築が進み、質・量ともかなりの改善を遂げることができました。しかしながら、中国市場の成長性からすれば、本来、もっとスピード感のある成長が可能はずですので、更なる規模の拡大と収益の向上を目指したいと考えております。

中国GDP成長率



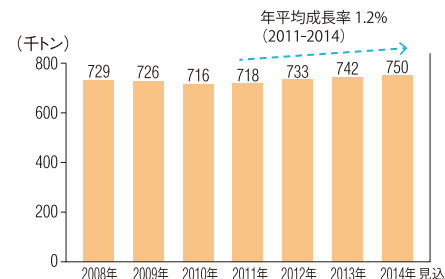
出所：中国国家统计局公表データ

## 2016年へ。今後の営業戦略

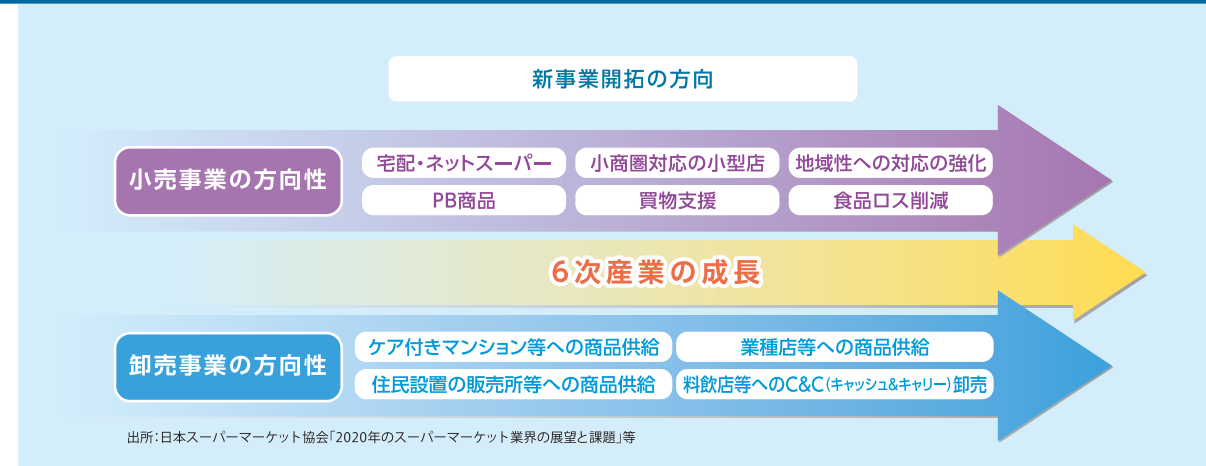
### 食品包装容器市場の変化と中央化学の対応力

食品包装容器市場は、ここ数年は縮小することなく、特に個数ベースでは伸びていくといわれています。しかし、マーケットは変化し、より多様化、分散化傾向が進むと考えられます。そこでは従来の競争原理が変化していくこともあり得ます。マーケットの変化を先取りしながら、スピード感を持って自らが変わっていくことが大切になってきます。当社は素材開発から製品化まで一貫した生産販売体制をとっているため、先に述べた「全員創意」が徹底できれば、「品質+コスト競争力+提案力」の向上を同時に実現でき、迅速にマーケットの変化に対応できるはずで。また、当社は北海道から九州まで全国に工場を配置しているため、今後はより地域のマーケットに合わせた運営をしていくことがキーポイントとなるでしょう。

プラスチック軽量容器市場規模推移



出所：矢野経済研究所レポートや、日本フランチャイズチェーン協会、富士経済、農林水産省、日本冷凍食品協会などの公表情報より作成



### グローカリズムに対応する中央化学の情報センサー

食文化もグローカリズムの時代です。「グローバル」な側面と「ローカル」な側面の両方をとらえ、「グローカリズム」の視点を持つことが不可欠です。「ローカル」で生み出された食のトレンドが瞬間に「グローバル」に伝わり、横展開していくスピードは想像以上に速いと思われます。日本の食品包装容器メーカーで唯一中国で事業展開する中央化学は、かつてのアメリカでの事業経験も含めて、そのノウハウの蓄積が、今後、国内外で成長していく上での大きな財産になってくるでしょう。

同時並行的に推し進めてきた改革の効果を加速させ、一日も早い業績回復を目指しております。株主の皆様には、今後も引き続きご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



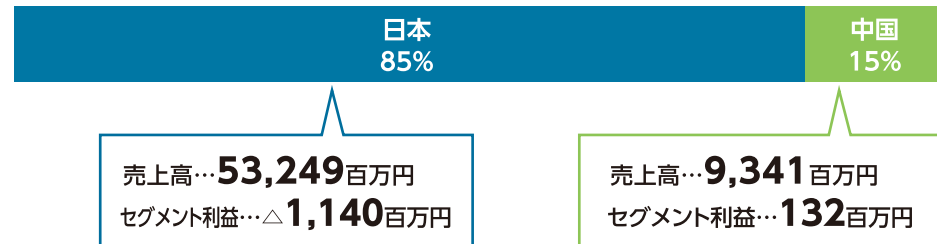
中央化学株式会社 代表取締役社長 水野和也

# 連結決算ハイライト

## ● 業績の概要



### 売上構成比 (連結消去前)

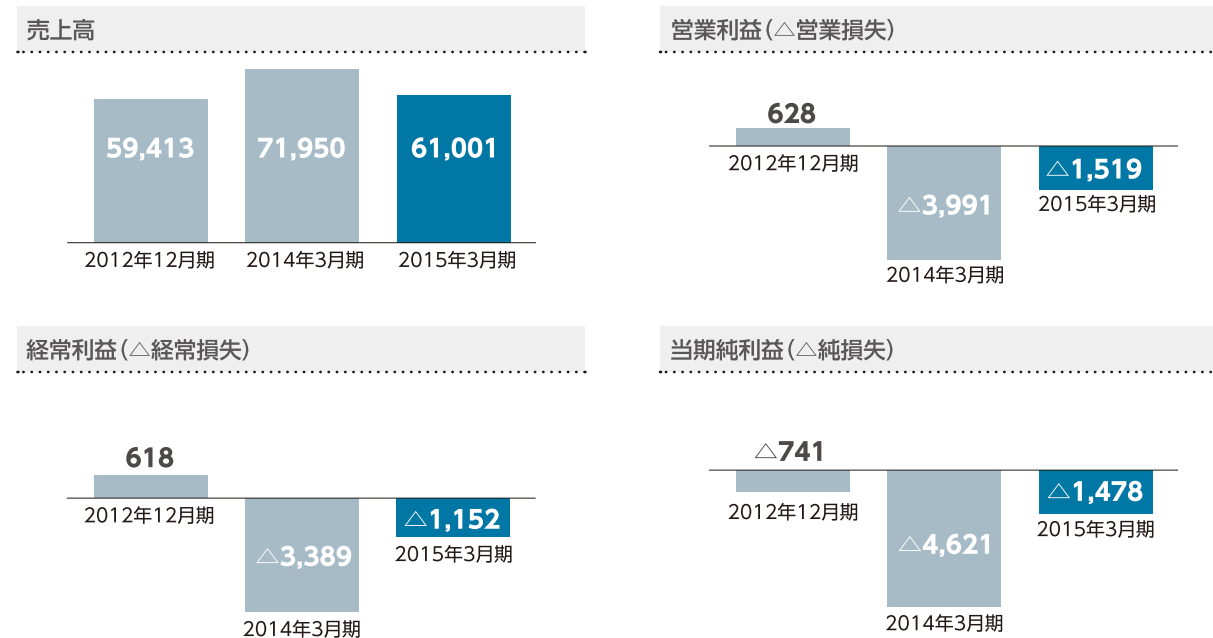


当食品包装容器業界と極めて関連性の深い一般消費財市場においては、消費税増税後の消費回復に鈍さが目立ち、依然として消費者の節約志向・低価格志向が継続しております。また、プラスチック原材料価格は当連結会計年度においても引き続き高水準で推移するなど、厳しい経営環境が続きました。このような状況下、当社グループの国内では、予てより推進しております得意先様との連携強化に一層注力するほか、「Spring Fair 2015」を開催し、新製品の紹介とともにそれらを活用した売場作りの提案を行って販売強化に努めました。一方、原材料価格が高水準で推移する中で、販売価格改定と採算是正を進め、より多くの得意先様からご理解を得ることができました。並行して社内改善にも積極的に取り組み、製造原価を始め物流費や管理費など、ありとあらゆる経費を対象に削減を進めました。

中国においては、経済成長の減速感が見られるものの景気は堅調に推移しました。国家質素儉約政策により、飲食関連の市場は高級化から大衆路線化へ進んでおり、安全・安心な当社グループ製品に対する市場の期待感を引き続き高く、拡販や製造効率の改善などにより前年同期間の業績を上回りました。

## ● 収益の状況 (連結)

単位:百万円

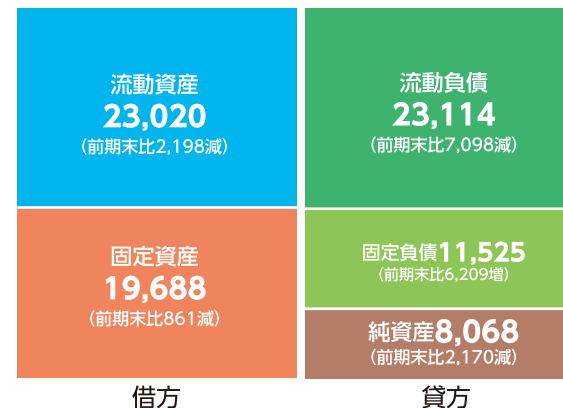


※2014年3月期は15カ月決算となります

## ● 資産の状況 (連結)

単位:百万円

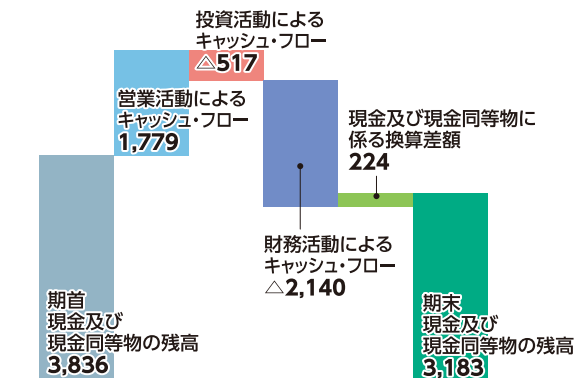
(2015年3月31日現在)



## ● キャッシュ・フローの状況

単位:百万円

(2014年4月1日～2015年3月31日)



※百万円以下は切り捨て

## 中国事業

競争激化する中国市場で  
「業界トップ企業のブランド力・総合力を活かし、継続的拡大を目指す」

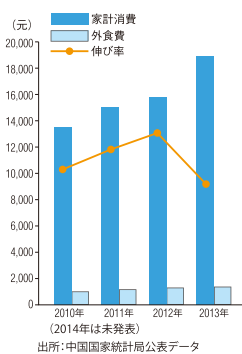


環菱中央化学管理有限公司  
総経理 郁方銘

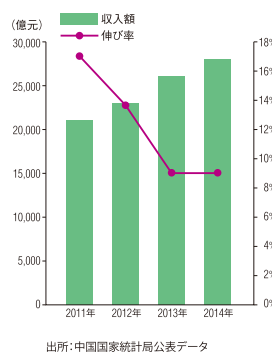
業界トップ企業として  
本邦事業・中国事業双方の連携を推し進め、  
提案力・新素材開発力を如何なく発揮し、  
スピード感をもって魅力ある製品を  
市場に投入して参ります。

中国では経済成長の鈍化に伴い、都市部の一人当たりの外食費の伸びも鈍化しているものの、外食は生活スタイルに着実に定着してきています。日本の外食産業は総額30兆円程度と足踏みの状態ですが、中国の外食産業は拡大し続けており、既に日本の1.5倍と存在感を増しています。国家質素儉約政策により、贅沢に反対する風潮が高まり、外食産業も高級化から大衆路線化へ進んできたことで、食品包装容器業界には追い風となっています。

都市部の一人当たりの外食費と  
家計消費に占める比率



飲食産業の収入額



### 現地主導による改革加速

#### クロスファンクションチーム組成、技術人材育成

現地主導の改革を加速すべく、2015年4月1日付で中国人初の総経理(東莞中央化学)が誕生いたしました。現在、同総経理指揮の下、改革を更に推し進め、東莞中央化学は華南市場No.1メーカーを目指しております。また、各会社の中国人リーダーを集め、クロスファンクションチームを組成し、会社の共通課題抽出・解決ノウハウを習得(横展開)し、各会社での実行(縦展開)を通じて、技術人材の育成を行っております。



東莞中央化学総経理 鄒元材

## トピックス

### Spring Fair 2015 開催!



お悩みQ&A



Cook Station



エントランス

2015年2月10日(火)から3日間、大崎ニュー・シティにある当社東京オフィスにおいて、Spring Fair 2015「Next Choice! ～一人十色の欲しいに合わせて～」を開催しました。

今回は売場陳列の展示と同程度の面積で「コンセプトゾーン」を設け、生活者の消費スタイルやシーン別のお悩みQ&A、時短や効率など、様々な要望やシーンに合わせた「一人十色」の提案を行いました。来場者総数は1,500名を超えました。



会場内



新製品コーナー

### 東北工場 操業再開

東日本大震災以降、操業を停止していた東北工場(福島県田村市)について、2015年10月からの操業再開を予定しております。

操業再開後は、東北地域の地場産業の復興に食品容器分野から貢献して参ります。



東北工場

# 新製品

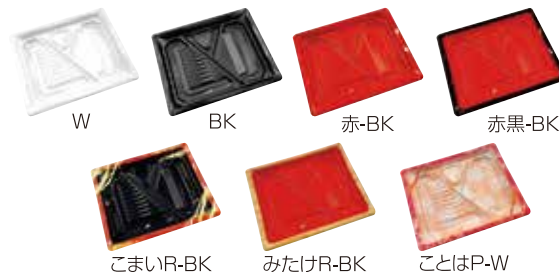


## 豊富な品揃えで売場を演出

いろいろなサイズや用途のお弁当に対応可能な充実した品揃えで、人それぞれの多様なニーズに応えることができ、売場を演出しやすい新製品「いろは」が登場。



### 色柄



### 選べる3つの蓋



**O蓋** 天面が広いので、お弁当を大きく見せる効果があります。

**T蓋** すっきりクリアなデザインで、料理を華やかに見せます。

**T高蓋** ポリュームのあるお弁当にぴったりな高さのある蓋です。

# 会社概要 (2015年3月31日現在)

商号	中央化学株式会社
設立年月日	1961年1月30日 (創業 1957年)
資本金	62億1,275万円
決算期	3月31日
従業員数	2,110名(連結)

## 役員一覧 (2015年6月24日現在)

代表取締役社長	水野 和也
代表取締役	森本 和宣
取締役	中井 正
取締役	宮内 孝久
取締役	藤木 洋
取締役	近藤 康正
常勤監査役	大吉 正人
監査役	山口 吉一
監査役	北島 雅幸

# 株式情報 (2015年3月31日現在)

### 株式の概要

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	21,040,000株
株主数	893名

### 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所(JASDAQスタンダード)
公告の方法	電子公告 <a href="http://www.chuo-kagaku.co.jp/">http://www.chuo-kagaku.co.jp/</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

## 株主構成 ※2015年3月31日現在の株主名簿上での名義で記載しております。

